

# 日本空手松涛連盟岐阜県大会申し合わせ事項

## 【型の部】

1. 予選の選手入場は「トコロテン方式」とする。コートの方側から赤・青の順番に入場し、赤側に退場する。
2. 礼は2回（①演武開始前の礼、②演武終了後の礼）のみ行う。コート入場時の礼、退場時の礼は省略する  
  
（選手が礼を行わない気配の場合には主審が促し失格にはしない）
3. 選手は演武終了位置にて判定を受ける（コート外に移動しない）
4. 予選での試合の開始合図は主審の笛の合図で行う。
5. 予選の判定は主審を含めた5人の旗（赤青）判定とする。主審の旗で勝敗を宣言する。
6. 予選は1回戦～ベスト4までは回戦毎に整列（締め）をせず通しで行う。勝ち上がった選手は青側の待機場所に移動させ、次の回戦での赤青に振り分ける。負けた選手はアリーナから退場させる。
7. ベスト4での得点表示は全空連の型得点方式に準ずる審判5人のうち最高点と最低点を除いた3人の点数の合計点とする。合計点と同じの場合は中3つの点数の最低点・最高点の順番で確定する。それでも同点の場合には再試合を行う。再試合の場合は同じ型でも変えてもよい
8. ベスト4での演武順はくじにより決める。参加人数が4人の場合もくじ引きをする

## 【組手】

1. 小学生は全空連の（12歳未満）ルールとし、顔面・頭部・頸部に触れたら違反。投げ技、足払いは罰則。頭部・頸部への10cmまでの正確な技は原則的に得点とする。
2. 中学生・高校生は全空連のカadet & ジュニアルール。上段蹴りのスキンタッチ程度は得点。
3. 投げ技・足払いはOK
4. 選手の入退場の礼（以下の4回の礼を行う）  
  
開始 (1)主審の指示でコート外端でお互いに礼 (2)コート内の開始位置でお互いに礼  
  
退場 (3)勝敗宣言後にお互いに礼 (4)コート外端でお互いに礼
5. 予選は1回戦～決勝戦まで回戦毎に整列をせず通しで行う。
6. 10カウントルールは採用しない。審判の力量により乱暴なプレーに対しては早く罰則を科し怪我等をさせないこと。もし倒れた場合には素早くドクターを呼ぶ事。その後の処置・判定は状況により対応すること。
7. 連続して試合をする際のインターバルは競技時間を与え、安全具の色を変える場合は3分を与える。